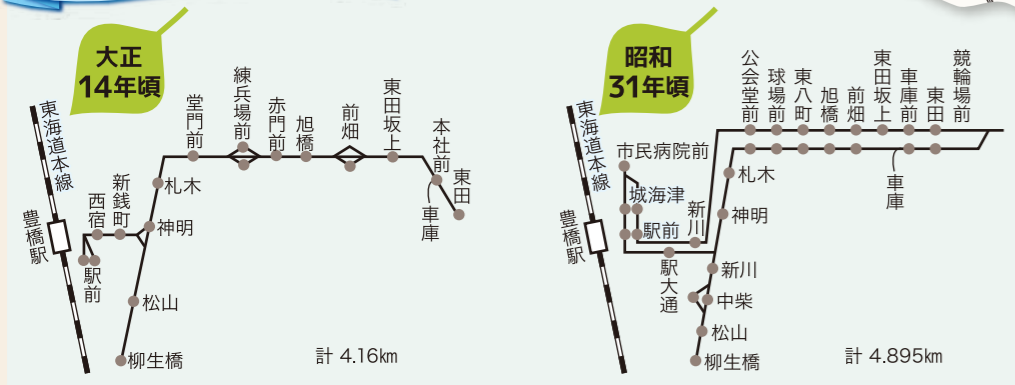




T1000形 ほつらム

むかしの路線



**公会堂**  
昭和6年(1931)建築の半球ドームと鷲がシンボルのロマネスク様式の建物で、国指定登録文化財。現在も幅広く利用されています。

**豊橋公園**  
遊具・広場の他、テニスコート、野球場、武道館などのスポーツ施設を整備する公園。敷地内に吉田城跡、豊橋市美術館がある。

**吉田城**  
豊橋公園内にある吉田城址。昭和29年に再建された三重櫓。内部は無料で一般公開されている。

13駅、22分  
路面電車(市電)の「旅」



「市電」は90年以上も豊橋の街を走り続けています。夏の納涼ビール電車・冬のおでんしゃ、安心・安全を呼びかける「バト電車」など、様々な顔で市民に親しまれています。

**プチMEMO**  
昭和30年に製造された電車。写真の3203号は「おでんしゃ」や「豊橋まつり花電車」など、イベント電車として使用しています。



豊橋の路面電車 主なあゆみ

- 大正13年 豊橋電気軌道株式会社 創立
- 14年 駅前～神明～札木十字路、神明～柳生橋、札木十字路～赤門前、赤門前～東田間が順次開通
- 昭和20年 空襲により全線が不通
- 25年 東田坂上～車庫前、車庫前～競輪場前間：開通
- 27年 駅前～市民病院前：開通
- 29年 豊橋鉄道株式会社に社名変更
- 35年 競輪場前～赤岩口：開通
- 51年 柳生橋支線を廃止
- 平成5年 納涼ビール電車の運行開始
- 7年 ワンデーフリー乗車券：発売開始
- 10年 駅前停留所移設、軌道150m延長
- 11年 豊橋市で路面電車サミット開催
- 17年 駅前大通停留所新設
- 19年 おでんしゃの運行が始まる
- 20年 LRV(ほつらム)運行開始
- 22年 市内電車開業85周年
- 23年 松平健さんによるアナウンス開始(駅前停留場)
- 24年 801号「バト電車」運行開始
- 25年 ICカード全国相互利用開始  
納涼ビール電車乗車人員5万人達成
- 27年 市電90周年記念「フレンチトレイン」運行
- 28年 「軌道緑化事業」施工(駅前～駅前大通間)
- 30年 前畑駅駅舎改良、バリアフリー化

乗客数の推移

昭和31年	5,871千人
40年	9,275
50年	5,362
60年	3,170
平成元年	3,201
10年	2,987
20年	2,935
29年	3,075

**吉田宿と東海道**  
吉田宿は東海道五十三次で江戸から34番目の宿駅です。「吉田通れば二階から招く、しかも鹿の子の振り袖が」と詠われ賑わう城下町でした。

**西光寺**  
門前では4と9の日に市(朝市)が並びます。また11月には熊手・福袋など縁起物が並び、賑やかに酉の市が開催されます。  
●「新川」下車：徒歩5分

**安久美神戸神社**  
国指定重要無形民俗文化財『豊橋鬼祭』(毎年2月10日・11日)で有名。  
●「豊橋公園前」下車：徒歩3分

**ハリストス正教会**  
大正2年に造られた正教会。戦禍を免れ、教会の記録・文獻、聖像画、美術工芸品等が残る。国重要文化財。  
●「市役所前」下車：徒歩3分

**豊橋競輪場**  
中部地方初の競輪場として、昭和24年に開設されました。バンクは400m。スピード感あふれるレースが観戦できます。  
●「競輪場前」下車：徒歩8分

**岩田運動公園**  
市民球場、テニスコート等のスポーツ施設と、北側に広がる水神池の周りの散歩道は心和む自然豊かな公園として親しまれています。  
●「運動公園前」下車

**日本一急なカーブ 通称 R11**  
昭和57年、井原～運動公園前を0.6km延伸した際、誕生したR(半径)11m。

車庫と工場があり、車両の点検・整備はここで行っています。

豊橋鉄道 乗車券  
大人:150円  
小児:80円 ※全線均一料金

★豊橋鉄道オリジナル駅名板キーホルダー